2025（令和７）年度　（公財）日教弘教育研究助成事業

弘済会大阪支部　スクールフォローアップ事業 募集要項

スクールフォローアップ事業は、学校園の研究活動に対して助成を行う事業です。
本年度は下記要項のとおり実施します。

1．主催　　公益財団法人 日本教育公務員弘済会大阪支部

2．助成要件

⑴ 助成の趣旨

教育研究・教育実践の特色ある取り組みに対し助成金を給付することにより財政的支援を行い、教育の振興に寄与することを目的とする。

⑵ 助成内容

助成額１０万円　１１０校園募集

⑶ 募集対象

大阪府内にある公立の幼稚園・認定こども園（保育所型を除く）・小学校・中学校・義務教育学校・支援学校(小・中学部)

⑷ 助成の対象にならないもの

①　営利目的、または営利につながる可能性の大きいもの
②　他の機関からの委託によるもの
③　すでに終了しているもの

⑸募集期間

2025年４月1日（火）～５月16日（金）正午＜フォームにて受付＞

⑹スケジュール

4月 1日（火）	応募受付開始
5月16日（金）	応募締め切り
5月下旬～6月上旬	選考
6月11日（水）	選考結果を大阪支部ホームページ「公開情報（選考結果）」に掲載
6月24日（火）・26日（木）の午後２時より説明会を実施-どちらかの日に参加していただきます。	
7月 1日（火）～	贈呈式開始（セブンペイメントのシステムを使って助成金をお渡しします。）
2月末まで	成果報告書（含会計報告）を郵送してください。

※ 申請書について、面談や問い合わせを行うことがあります。

※ 採否の理由等、選考に関わる問い合わせには回答しません。

応募（応募フォーム）
→
選　定
（選定結果をＨＰで確認）
（贈呈式の日程をフォームで調整）
→
メールで助成金受け取りに必要な二つの番号を受け取る
→
贈　呈　式（職員会議等）
（助成金受け取りに必要な番号を受け取る）
→
60 日以降は出金不可
→
セブン銀行ＡＴＭで三つの番号を入力し助成金を受け取る
→
成果報告書を郵送する

(7) 応募方法

手順①　ホームページより「スクールフォローアップ申請書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、保存する。

手順②　次のいずれかの方法でフォームへアクセスして必要事項を打ち込み、①で保存した「スクールフォローアップ申請書」のファイルを添付し送信する。

〈フォームへのアクセス方法〉

方法①　ホームページ上で「申請書の送付はこちら」をクリックする。

方法②　ctrlキーを押しながら下記のアドレスをクリックする。または二次元コードから入る。

https://form.run/@2025-school-follow-up

※　申請フォームが本支部に届くと、受付完了メールが返信されます。
（受付完了メールが届かない場合は、弘済会大阪支部までご連絡ください。）

3. 応募にあたっての注意点

(1) 同一年度に同一校園において、本事業と「ブックパック」「スポーツパック」「奨励金」「フレッシュコンサート」「ハートフル話芸」「サイエンスショー」と重複しての応募はできません。

(2) 過去２年以内(2023年度・2024年度)の本事業の実施校園は応募できません。

(3) 義務教育学校は一つの学校として取り扱う。小中一貫校については、小学校と中学校のどちらか１校で応募可能。

(4) 申請書には、設定テーマを達成するために、本助成金をどのように活用するかを具体的に記述する。また、助成金の使途計画は、費目・具体的な品目(購入物品)・金額を明記。（例参照）

※　合計金額は10万円以上にしてください。（超過分は学校支払い）

(5) 講師謝礼にも使用できますが、源泉徴収に関する事務処理は、すべて学校園が行なってください。また、成果報告書には、その旨がわかる領収書(コピー可)を添付してください。

〈個人情報の取り扱いについて〉

・申請書に記入された個人情報は、選考及び選考結果の通知のために使用します。
・助成が決定した場合は、校園名や研究・実践テーマを公表します。また、贈呈式の模様や研究成果報告を広報誌等で公表する場合があります。

4. 選考

(1) 弘済会大阪支部教育振興事業選考委員会の選考後、大阪支部幹事会の議を経て、支部長が決定する。

(2) 選考基準：下記諸点に重点を置き選考する。

① 計画性：研究活動の推進に助成金がどう活用されるのか、計画が十分検討されているもの。
② 貢献性：助成金の活用が教育成果として子どもたちに還元されるもの。
③ 必要性：公的機関や企業等の補助や助成が得難い等、本支部の給付の必要性が高いもの。
④ その他：校種、地域、応募歴、校園事情等、本支部が価値を認め評価するもの。

(3) **選考結果は6月11日にホームページの「公開情報」でのみ発表。**

※ 郵送やメール、電話などで通知はいたしません。選考結果とともに、選定された校園は、「スクールフォローアップ事業説明会」の案内を必ず確認してください。

5. 助成対象者の義務

(1) 選定された学校園は下記日程の「スクールフォローアップ事業説明会」に必ず参加してください。なお、参加できなかった学校園は、後日事務局で説明を受けてください。

※説明を受けなかった学校園は、申請そのものが無効になりますのでご注意ください。

日時　６月24日（火）午後２時　または　６月26日（木）午後２時
場所　たかつガーデン B1オリーブ（〒543-0021大阪府大阪市天王寺区東高津町7-11）
内容　〇スクールフォローアップ事業の趣旨説明
〇申請書の確認
〇今後の予定や提出書類について

会場や運営の都合上、いずれの日に参加していただくかは選考結果と同時にホームページ上に記載します。また、説明会後に、贈呈式の希望日をフォームより送信してください。

(2) 給付が決定した場合は、校園名および申請書に記入の研究・実践テーマを公表する。

(3) 本支部役職員および提携会社関係者が学校園を訪問し、教職員が揃っている場(職員会議等)で贈呈式を行い、趣旨等を説明の上、贈呈書を手渡す。

6. その他の注意事項

(1) 本年度より、助成金の支払いはセブン・ペイメントサービスのシステムを利用し、応募者がキーになる３つの番号をセブン銀行のATMに入力して出金します。

・２つのキー（番号）は応募フォームに記載されたメールアドレスに送信します。
・もう１つのキー（番号）は、本支部役職員が学校に訪問し贈呈式を実施した際に直接お知らせいたします。

※　セブン銀行ＡＴＭの利用方法の詳細については弘済会大阪支部のホームページ内の「よくあるご質問」に掲載しています。

(2) 助成を受けた学校園は、実施の概要、成果報告、助成金使途明細、領収書等を所定の報告書にまとめて、2026年２月末までに提出。なお、提出された報告書は当会が公表できるものとします。
※　成果報告書はホームページよりダウンロードし、作成したものを郵送してください。

(3) 成果報告書には助成金をどう活用して研究が進められたかを具体的に記述するとともに、それに関連した写真や教職員の声などを付け加えてください。

(4) 物品を購入する際は、学校園や個人に、いわゆる「ポイント」が付与されることがないよう留意してください。

※　下部に、助成金の使途に関わる「費目」と「具体的な品目」の例を載せていますので、参考にしてください。

問い合わせ先
〒542-0062 大阪市中央区上本町西５－３－５ 上六Ｆビル11 階
公益財団法人 日本教育公務員弘済会大阪支部
「スクールフォローアップ事業」係　　担当：辻谷
電話 ０６－６７６８－０６３１
お問い合わせフォーム　https://form.run/@otoiawase-kousaikai/
弘済会大阪支部　URL https://www.kyoukou.or.jp/

費目・具体的な品目の例

費目	具体的な品目
印刷製本費	研究紀要作成　マニュアル作成　授業用資料　等
通信整備費	タブレット　プロジェクター　Webカメラ　Wifi年間契約　等 ICT関連機器
材料費	製作用木材　花壇用ブロック　等 物品製作のための材料
消耗品費	インクカートリッジ　用紙類　筆記具　SDカード　コード類　等
資料購入費	授業研究用資料　教師用書籍やDVD　等 教師用図書類
新聞図書費	子ども新聞購読　児童生徒用図書　等 児童・生徒用図書類
環境整備費	園芸用品(苗や肥料等)　清掃用具　パーティション　器具レンタル　等
教材教具費	実験用具　運動用具　楽器　資料集　ワークシート　地図　等
郵送運搬費	送料　物品の運搬料　振込手数料　等
研究会参加費	各教科の全国大会・県大会・各種研究会等の参加費や資料代
旅費交通費	研究会交通費　施設見学の入館料や交通費　講師の交通費　等
講師謝礼	講師に対する謝礼　ゲストティーチャーへの礼品　等
雑費	研究推進に必要な経費のうち、上記の費目にあてはまらないもの

※ 助成金の使途として、人件費・飲食費、会場費等は経費にできません。また、汎用性のある機器等は、その選定理由を申請書の研究内容に明確に記述してください。

※ 講師謝礼を費目としてお考えの場合、必ず源泉徴収を行ってください。